

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道416号白方～布施田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	福井県
起終点	起点：福井市白方町 終点：福井市布施田町	延長	5.2km		
事業概要	<p>一般国道416号は、福井県福井市を起点とし石川県小松市に至る延長約9.1kmの幹線道路である。                  白方～布施田バイパスは、現道福井市川尻町から同市剣大谷町間の線形不良、幅員狭小区間の解消と北陸自動車道福井北IC、福井市街地と福井港、テクノポート福井とのアクセス道路の確保を目的とした福井市白方町から同市布施田町に至る延長5.2kmの4車線（暫定2車線）道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>白方～布施田バイパスは、現道の線形不良区間や未改良区間における交通混雑の解消と、交通事故の緩和を図るため、バイパスを整備し、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域産業の活性化と観光の振興に寄与するものである。</p>				
全体事業費	3.9億円（4車線整備：5.7億円）	計画交通量	11,200～12,600台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見  
 福井市長を会長とする国道416号福井川西バイパス建設促進期成同盟会から要望を受けている。

事業採択の前提条件  
 費用対便益：便益が費用を上回っている  
 円滑な事業執行の環境：事業区間の約1/2で、圃場整備事業により用地確保見込み  
 手続きの完了：都市計画変更（平成17年9月）

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.3	総費用：4.9億円 （事業費：4.4億円 維持管理費：5億円）	総便益：1.12億円 （走行時間短縮便益：1.08億円 走行費用減少便益：3億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年：平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)		
		事業費変動	B/C= 2.1 (事業費+10%)	B/C= 2.5 (事業費10%)		
	事業期間変動	B/C= (事業期間 %)	B/C= (事業期間 %)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		交通混雑の解消および線形不良箇所における走行性向上が図られる。 【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 福井県平均：約10.6千人時間/年・km 全国平均：約20.3千人時間/年・km 【渋滞度曲線】 県内の渋滞度曲線：2割以内 【その他の特徴】 データは県内平均・全国平均と比較すること		
		事故対策		死傷事故率が比較的高い区間の事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】 約79件/億台km （死傷事故率比（県内平均比） 1.29） （事故率曲線における位置：） 福井県平均：約61.1件/億台km 全国平均：約105.6件/億台km 【その他の特徴】 データは県内平均・全国平均と比較すること		
	社会全体への影響	歩行空間		現道に面した集落内の歩行者・自転車の安全確保が図られる。		
		住民生活		福井市街地方面からテクノポート福井への通勤交通の円滑化が図られる。（テクノポート福井への通勤者：約3,000人） 三次医療施設福井県立病院への時間短縮に寄与する道路である。（約34分 約28分）		
		地域経済		福井市街地方面から福井港へのアクセスが向上し、貨物取扱量の増加が期待できる。		
		災害		緊急輸送道路（第1次）の機能強化が図られる。		
環境			通過交通、大型車の転換により、現道の騒音・振動・大気汚染物質の低減化が図られる。			
	地域社会		主要な観光地である越前海岸[年間観光入込客数=128万人]へのアクセスは、現在の線形不良区間のある道路から走行性の良いバイパスに転換することから、安全な観光輸送が図られる。			
事業実施環境			福井県道路整備プログラム（H16.3）への位置づけがなされている。			

採択の理由

費用対便益比が2.3と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、交通事故の緩和、物流の効率化、観光振興等が図られるなど、事業の効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。